

第 3 回総合計画審議会の結果について

	ご意見	対応
基本構想のたたき台について	(1) 「計画の構成」の説明の中で、重点的な施策を位置づけるとあるが、将来の財政シミュレーションをした上で、施策を選択した方が良い。	将来の財政シミュレーションとして、「税収額及び社会保障費の推計」と「公共建物の将来更新必要額の推計」を行いました。具体的な施策については、将来の財政状況を見通した上で、施策を位置づけます。 【16～17ページ】
	(2) 年齢5歳階級別の純移動数のグラフを見ると、25歳前後の転出が、20歳前後の転入を大きく上回っていることが分かる。このことは、長久手市の課題であるため、しっかりと記述した方が良い。	長久手市の課題として、記述しました。 【13・22ページ】
	(3) 若い世代が、長久手市に住み続けたいくなるような具体的な施策が必要である。	若い世代の定住や3世代以上の同居の推進については、基本計画の策定作業の中で、具体的な施策を位置づけるか検討します。
	(4) 「3世代以上が住み続けられるまち」にするための具体的な施策が必要である。	
	(5) 将来像については、さらなる検討が必要。 ※「ふるさと」という言葉の持つ意味が人によって異なるため、表現を修正した方が良い。	今後の10年間のまちづくりのキーワードを「共生」とし、将来像を修正しました。 【23ページ】